
第 93 回 関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告
XCIII Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

日時：2015 年 11 月 7 日(土) 10:30～12:30

場所：関西学院大学梅田キャンパス (ハブスクエア) 1002 教室

担当者：江澤 照美

「日本の新しい大学におけるスペイン語教育の制度的条件と環境 (6) - 新しい時代のスペイン語教師のあり方を考える」

今回のワークショップは担当者が 2015 年 7 月 4 日に実施した「日本の新しい大学におけるスペイン語教育の制度的条件と環境 (4) - 制度の変遷」の続編と呼ぶべきものである。扱ったテーマが広範囲にわたるものであったため、内容紹介のプレゼンに時間を取られ、その結果、当日の出席者全員と十分な意見交換をおこなうだけの時間があまり確保できなかった。そこで、今回はその意見交換をメインとしたワークショップをおこなった。

前回から 4 ヶ月経っていることもあり、まず概要を簡潔に示したのち、担当者が用意した 4 つのテーマについて参加者各自の状況や経験、知り得たことなどについて意見交換をした。その概要は以下の通りである。

- 1) 職場の環境について考える
 - ・ 参加者が勤務している、あるいは知っている大学や高校における「グローバル化」の対応について
 - ・ 外国語教育や国際交流にどのくらい／どのように力を入れているか
- 2) 自分が知りうる職場で最近数年間に起こった変化
 - ・ 例として学部学科の再編や定員変更など
- 3) 職場から最近求められるようになったこと
 - ・ 例として、シラバスの内容や学生への対応などについて
- 4) 制度や世の中が変化して行く中で、教師として今後どうしていきたいか／どうあるべきか

1)についての意見交換だけで時間を想像以上に費やしてしまったので、2) と 3) についてはまとめて扱い、特に 3)を中心に具体的な事例も交えて話し合った。

最後に 4) について参加者全員が今回の意見交換の内容をふまえて、今後の大学や高校におけるスペイン語教育について、あるいは教師としての心構えなどについて一人ずつ意見を述べた。

* * * * *

Fecha y hora : sábado, 7 de noviembre de 2015, de 10:30 a 12:30.

Lugar : Universidad Kwansei Gakuin, Campus de Umeda, "K.G. Hub Square", Aula 1002

Encargada : Terumi EZAWA

Título : Condiciones institucionales y situación en el aula para la enseñanza universitaria de español en Japón :¿Cómo ser profesores de E/LE en la nueva era?"